イベント情報

人口の５倍もの人がやってきて

瀬戸内のパワースポット“うましま”で巳年を祝おう…と企画した『スネークロック新春ツアー』は真冬にしては珍しく凪の一日となり、参加者 102 名、スタッフ 50 名で島は終日賑わった。オープニングに続き、紙芝居『ゆき姫物語』の上演、ゆき姫なべとひじきごはんの昼食に舌鼓を打ち、はね島へ移動、“スネークロック探訪”はまわりが岩場なので一度に全員は無理…と判断、３班に分けて実施した。一目見るなり「うわ～ッ、すごいッ！」と感嘆の声があがり、賽銭をあげて参拝する人、記念撮影する人…と、みんな大喜びだった。

圧巻!!、海中パフォーマンス『ゆき姫物語』

たぶせ山城太鼓の勇壮なバチ捌きでスタート

ゆき姫が乗った小舟が登場、嵐で沈没する

島の若者がゆき姫救出に出動

海中から引き揚げて砂浜へ

海の中からシロヘビが現れ…

横たわるゆき姫になにやら祈りを

町役場の若い職員さん 13 名（男性 12 名・女性1名）と一般女性１名による海中寒行は私たちも知らなかった“海中パフォーマンス”に変身。島の伝説『ゆき姫物語』を中市博之さんがアレンジしたもので、圧巻だった。最初は腰まで浸かってぶるぶる震える程度と思っていたが、飛び込んで泳ぐという、真夏か…？と錯覚するような光景だった。

「ストーリーが決まったのが４日前、寒い時季なのでリハーサルも出来ず…」と取り纏め役の内山昌晃さん。だが、ぶっつけ本番は大成功。最後に“もちまき”でイベントはすべて終わった。参加いただいた方々、スタッフのみなさん、ありがとうございました。

ログハウス情報

高台にグレードアップ型ミニログハウス

下松市の高台の住宅地にミニログハウスの建築が進行中だ。白根さんがミニログハウスキット集の中から選ばれたのは建築確認申請が不要の３坪タイプ（9.72 ㎡）の“カリスト”をアレンジ、グレードアップしたタイプのログハウスだ。

まず、通常はØ 130mm がキットのログ径だが、これをワンランク上のØ 150mm にして、ロフトを高く、広く…のご希望で壁高を４段増やし、広さも通常より 60％ほど増やして 4.32 ㎡にした。

また、室内の明るさと風通しを良くすることを目的に、屋根には開閉可能なルーフウインドウを、入口ドアにはドアを閉めたまま上げ下げ障子を開けるだけで通風が出来る通風ドア“エアリフレ”を採用した。

現在は基礎が完成、３月５日からログ積みが始まり、中旬頃には完成の予定だ。

ドでか丸太看板は世界チャンピオン作

これまで何度かご紹介した周防大島町の米重さんのログハウス（2010 年 12 月完成）の農家民宿『ログ よねこ』は春のオープンを目指して準備が着々と進行している。

２月17日には玄関の横に高さ 3.15m・平均直径 60cm のドでか丸太看板がデ～んと据わった。おなじみチェンソーアートの世界チャンピオン 林隆雄さんの、豪快で繊細な力作だ。オーナーの米重智恵子さんは予想以上の出来ばえに大感激、林さんとのツーショットにご機嫌だった。

それにしても農家民宿の申請は大変だった。山口スローツーリズム推進の一環として県が 2005 年度に『山口型小規模農林漁家民宿』を認定、旅館業法や食品衛生法の施設基準を緩和する支援措置を実施しているので厨房やトイレ設備などはほぼ現状のままで良く、保健所の許可は簡単だった。

問題は消防署だった。宿泊室が２階…ということもあったのだが、避難誘導のための非常灯・誘導灯の設置が義務づけられた。それにペレットストーブもやり玉にあがり、環境省の『木質バイオマス環境ガイドブック』で薪ストーブとの違いを説明したがダメ、結局「使用しません」ということで申請…と、いろいろあって消防の検査は３月７日と決まり『農家民宿 ログよねこ』はやっとオープンにこぎつけた。

ウッディ短信

春の午後は１０周年記念コンサート

たぶせ少年少女合唱団の定期演奏会は今年で 10 回目を迎え、その記念コンサートが開催される。童謡メドレーやポピュラーソング、東日本復興支援ソング“花は咲く”などの『みんなの大好きなうた』、特別ゲストコーナーは『ヨシムラ ダンスセンター』、10 周年記念オペラ『しあわせをかけた橋』の３部構成。3月 20 日（水・祝日）、開場 13:00・開演 13:30。会場は光市民ホール。春の午後を子どもたちの歌声でどうぞ。

ログハウスで仲間とパーティなど、いかが？

ログハウスの雰囲気をみなさんにも味わっていただきたい…と、ログ陶房『石城窯』が“ログハウスまるごと貸し出し”を始めた。

仲間とのパーティやグループの集い、音楽会など自由に使える企画。製氷機も備えた厨房も使え、料金は３時間程度で 3,500 円。

駐車場は 15 台、飲食物はすべて持ち込みが条件で、予約が必要。なお、陶芸教室や陶器販売はこれまで通り開催している。石城窯は田布施町宿井 ☎0820-53-1569

馬島の地域おこし協力隊員が決定

人生の素敵なことは、ここにある‼…と田布施町が募集した“地域おこし協力隊”（340 元旦号で紹介）には東京・埼玉・広島などから９人の応募があり、書類選考で２人にしぼって面接の結果、藤田敬太郎さんと砂本枝里香さんに決定した。どちらも広島からの応募だった。

２人は４月から町の嘱託職員として３年間、町が賃貸契約したご覧の矢村さんのログハウスと島内の空き家に住んで、馬島と麻里府地域の活性化をメインに取り組んでいくことになる。

桜まつりの“森のエリア”準備中

27 回目を迎える『たぶせ桜まつり』は４月７日（日）の開催。カントリー工房が毎年企画・運営する“森のエリア”の企画が具体化した。チェンソーアート 林 隆雄さんの実演に、子ども向けの“しいたけ駒打ち体験”、美味しいコーナーは“アップルミントのピザ”、ワーゲンバスのクレープ屋さん“バレンタインクレープス”など。今年のまつりテーマは「未来につなぐ、つなげるチカラ」、詳しくは次号でご案内する。ぜひお出かけを。

◆◆

今月もお読みいただき、ありがとうございました。（岡部 正彦）